

## — 原子核パート準備校決定のためのローテーションのルール —

ローテーションのルールの基本的な考え方は以下の通りです。

- 人数を調査する事により、ローテーションの拡大を図る。
- センター校をローテーションに含め、ローテーションの拡大を図る。
- 人数が何年も少ない学校はローテーションから削除する。

以下において、前年度・本年度・次年度とは、一番最近行われた夏の学校の年度を「前年度」とします。

### ——— パート準備校になる条件 ———

次年度のパート準備校になる条件は全ての研究室での次年度の予想最低実働人数が、5人以上いることとする。ただし、予想最低実働人数とは、本年度の理論の方々の D1・D に残る M の人数と、実験の研究室 1 つを 2 人として数えた人数との和とする。

### — ローテーションから削除される条件 —

ローテーションから削除される条件は予想最低実働人数 3 人以下が 3 年続いていることとする。

### ————— ルール —————

以下の順番に沿って、本年度のローテーション、(次年度準備校の候補校を決定する優先順位表のもとのこと)、および次年度のパート準備校を決定する。パート準備校を決めるための全ての [調査] は、あらかじめ実行しておくこととする。

#### 1. 本年度のローテーション決定：

- (1-1) 本年度のパート準備校を前年度のローテーションの最後尾にまわす。
- (1-2) 本年度のパートセンター校を前年度のローテーションの最後尾にまわす。(本年度のパートセンター校がすでにローテーションに入っている場合、このルールを適用しないこととする。)
- (1-3) [調査] によりローテーションから削除される条件を満たした大学をローテーションから外す。
- (1-4) [調査] により新しくパート準備校になりえると判断される学校を、本年度のローテーションの先頭に付け加える。

これによりできたローテーションを本年度のローテーションとする。

(注：次年度のローテーションはこれを元に作成される。)

## 2. 次年度パート準備校の決定：

- (2-1) 次年度の全体の役職校にあたっている大学を調べ、ローテーションから外し、優先順位表を作る。
- (2-2) パート準備校になる基準を満たさなかった学校をローテーションから外し、優先順位表を作る。
- (2-3) 次年度のパート準備校候補校(以下、候補校)は(2-2)で作った優先順位表の上位3校とする。
- (2-4) 候補校は[調査]をもとに話し合いを行い、次年度パート準備校を決め、パートセンター校に報告する(期限はセンター校の指定した日)。ただし、正当な理由が無い限りパート準備校は優先順位で決まるものとする。

### [調査]

- 目的 : ローテーション拡大をはかる。  
候補校が次年度のパート準備校となり得るかの情報を得る。  
候補校の中での話し合いを円滑にするための情報を得る。
- 対象校 : 前年度の夏の学校の参加者が4人以上の大学。  
ローテーションに入っている大学。
- 調査項目 : 本年度のD1、Dに残るM2、M1の人数。理論/実験。

- これらの調査はパートセンター校の指示のもと各大学単位で行い、研究室単位では行わないこととする。(研究室単位だと、パートセンター校の負担が大きくなるので。)
- センター校はローテーションに含まれる大学がローテーションから削除される条件を満たすかどうかという情報だけは毎年残す。(それ以外の情報についてはセンター校に任せる。)

### ———— センター校の役目 —————

パートセンター校に次の仕事を付け加える。

1. 各調査を該当校に打診する。
2. 本年度のローテーションをルール1に従って作成する。
3. ルール2に従って候補校を決定する。
4. 調査結果をメーリングリストで公開する。
5. 候補校にも直接メールで調査結果を報告し話し合いの促進を行う。
6. 今までの調査結果と本年度のローテーションを次年度のセンター校に引き継ぐ。

## 付録（運用例）

1. 本年度のローテーションの決定について例を示す。前年度のローテーションを  
H大－A大－B大－C大－D大－E大－F大－G大

とし、前年度パート準備校はH大、前年度パートセンター校はI大とする。B大は前々年度から3年連続、ローテーションから削除される条件を満たしたとする。また、[調査]によって新たにX大がパート準備校としての条件を満たしたとする。

- (1-1) 前年度のパート準備校H大をローテーションの最後尾につける。

A大－B大－C大－D大－E大－F大－G大－H大

- (1-2) 前年度のパートセンター校I大をローテーションの最後尾につける。

A大－B大－C大－D大－E大－F大－G大－H大－I大

- (1-3) 3年連続、ローテーションから削除される条件を満たしたB大を削除する。

A大－C大－D大－E大－F大－G大－H大－I大

- (1-4) [調査]によって、新たに準備校の条件を満たしたX大をローテーションの最初につける。

X大－A大－C大－D大－E大－F大－G大－H大－I大

これを本年度のローテーションとする。

2. 次年度のパート準備校の決定について例を示す。D大が次年度の他の役職校に就いているとする。また、C大はパート準備校になる条件を満たしていないとする。

- (2-1) 上で決まったローテーションから他の役職校に当たっているD大を削除する。

X大－A大－C大－E大－F大－G大－H大－I大

- (2-2) パート準備校になる条件を満たしていないC大を削除する。

X大－A大－E大－F大－G大－H大－I大

- (2-3) この結果、X大、A大、E大が本年度の候補校とする。

- (2-3) 候補校X大、A大、E大は調査結果を踏まえて話し合いを行い、パート準備校を決める。話し合いの結果はパートセンター校に報告する。